



平成 19 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社ディースリー
代表者名 代表取締役社長 伊藤 裕二
(JASDAQ・コード4311)
問合せ先
役職・氏名 常務取締役 小寺 健治
電話番号 03-5428-8830

平成 19 年 3 月期 業績予想 (連結・個別) の修正に関するお知らせ

平成 18 年 11 月 6 日付当社「平成 19 年 3 月期中間決算短信 (連結)」及び同日付当社「平成 19 年 3 月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 連結業績予想数値の修正等

(1) 通期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	9,583	514	54
今回修正 (B)	9,784	594	147
増減額 (B-A)	201	79	93
増減率 (%)	2.1%	15.4%	171.6%

(2) 修正理由

売上高につきましては、コンシューマ事業におけるワールドワイドでの販売実績がフルプライスソフト及び低価格ソフトの合計で400万本を達成し、中でも欧米で発売した「Flushed Away」は販売本数を大きくの伸ばし、北米で展開している「NARUTO」シリーズや日本国内で発売した「CR新世紀エヴァンゲリオン・セカンドインパクト&パチスロ新世紀エヴァンゲリオン」等と同様、売上利益に大きく貢献いたしました。また、日本国内で販売本数が伸び悩んだX-box360向けタイトル「地球防衛軍3」も欧米での発売により売上予算達成に寄与し、コンシューマ事業としましては、過去最高の売上高を達成する見通しとなりました。

また、モバイル事業におきましては、「SIMPLE100 シリーズ」の会員数の順調な増加に加え、「SIMPLE500 シリーズ」の投入による売上増等により、モバイル事業でも過去最高の売上高を達成する見通しとなっております。

経常利益につきましては、コンシューマ事業における売上原価が当初の予想を上回り営業利益を一部圧縮したものの、為替差益の計上等により、当初予想を79百万円上回る594百万円となる見通しです。

当期純利益につきましては、上記の理由のほか、繰越欠損金により税金費用が低い欧州での利益が予想を上回ったこと等により、当初予想を93百万円上回る147百万円となる見込であります。

(3) ご参考：平成 18 年 3 月期の実績（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期（11/1～3/31）	2,319	△ 30	△139

（注）平成 18 年 3 月期につきましては決算期変更により 5 ヶ月決算となっています。

2. 平成 19 年 3 月期 個別業績予想数値の修正等

(1) 通期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	1,070	104	51
今回修正（B）	903	143	66
増減額（B－A）	△167	38	15
増減率（%）	△15.6%	37.1%	30.3%

(2) 修正理由

売上高につきましては、平成 19 年 3 月期中に発売を予定していたグローバルコンテンツ「Dead Head Fred」の発売を平成 20 年 3 月期に延期したことによりグループ事業会社からの売上収益が当初予想を下回る見通しとなりました。

なお、当社は平成 19 年 3 月期より持株会社へ移行しており、事業会社からのブランド使用料等を計上しておりますが、ブランド使用料等につきましては、当初予想どおりとなる見通しであります。

経常利益につきましては、主に外貨建資産に対する為替差益の計上により、当初予想を 38 百万円上回り 143 百万円となる見通しです。

当期純利益につきましては、主に上記の理由等により、当初予想を 15 百万円上回る 66 百万円となる見込みであります。

(3) ご参考：平成 18 年 3 月期の実績（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期（11/1～3/31）	1,428	296	168

（注） 1. 平成 18 年 3 月期につきましては決算期変更により 5 ヶ月決算となっています。

2. 当社は平成 19 年 3 月期に会社分割により持株会社に移行していますが、平成 18 年 3 月期の実績につきましては分割前の実績をそのまま記載しています。

以 上